

令和2年度 県立阪神昆陽特別支援学校

学校説明資料（学校概要）



こやっこ
(阪神昆陽マスコットキャラクター)

新型コロナウイルス対策のため、5月25日～27日で予定していた学校説明会が中止となり、十分な説明ができな
いままでもおりましたので、準備していた資料をホームペー
ジ上に掲載いたしました。ご覧にいただき皆様の来年度の
進路選択において、少しでもお役に立つものとなることを
願っています。

目次

- ▶ 1 校舎
- ▶ 2 めざす学校像
- ▶ 3 学校生活
- ▶ 4 教育課程表
- ▶ 5 流通・サービスコース
- ▶ 6 食品加工・農園芸コース
- ▶ 7 福祉・介護コース
- ▶ 8 職業体験週間
- ▶ 9 生活自立に向けて
- ▶ 10 生活自立学習
- ▶ 11 スチューデントメンター
- ▶ 12 技能検定に向けて
- ▶ 13 交流及び共同学習（共同の学び）
- ▶ 14 部活動
- ▶ 15 入学者選考までの流れ（予定）

1 校舎

高校と同じ敷地にある兵庫県下唯一の特別支援学校です。

B棟(特別教室棟)

体育館

プール

部室

特別支援学校校舎

C棟(昇降口棟)

A棟(普通教室棟)

高等学校校舎



2 めざす学校像

知的障害のある生徒が、主体的に生活を営むことができる力を身に付け、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育てるため、社会の要請に応じた職業教育を主とした就業体験の機会を積極的に設け、キャリア教育に取り組む学校をめざします。



3 学校生活

【学期】 二学期制（前期4月～9月・後期10月～3月）

【登下校】 自力通学（8：30登校、15：25下校）

【部活動】 15：30～16：30

【授業時間】 45分間

【昼食】 弁当（食堂営業）

【服装】 標準服、体操服、コース服

【クラス】 8人学級で6クラス（各学年）

食堂でお昼ご飯を注文して
食べることができます。
また、服装は式典や企業挨拶
などは標準服ですが、普
段は気候に合った適切な
服で登校できます。

（平成28年度より）

時 限	時 刻
SHR	8:30 ~ 8:40
1限	8:45 ~ 9:30
2限	9:35 ~ 10:20
3限	10:30 ~ 11:15
4限	11:20 ~ 12:05
昼休み	12:05 ~ 13:00
チャレンジタイム	13:00 ~ 13:10
5限	13:15 ~ 14:00
6限	14:05 ~ 14:50
美化タイム	14:55 ~ 15:15
SHR	15:15 ~ 15:25

4 教育課程表

領域・教科			1週間の時間数		
			1年	2年	3年
職業生活単元学習	基礎分野	国語	6時間	5時間	4時間
		社会			
		数学			
		外国語			
	技能分野	理科	1時間	1時間	1時間
		保健	1時間	1時間	1時間
		家庭	2時間	2時間	4時間
	充実分野	体育	2時間	3時間	2時間
		音楽	1時間	1時間	1時間
		美術	1時間	1時間	1時間
情報		2時間	2時間	2時間	
職業に関する専門教科	流通・サービスコース	流通・サービス	4時間	12時間 (選択)	12時間 (選択)
	食品加工・農園芸コース	家政	4時間		
		農業			
福祉・介護コース	福祉	4時間			
道徳			(1)	(1)	(1)
特別活動	ホームルーム	1時間	1時間	1時間	
自立活動			1時間(1)	1時間(1)	1時間(1)
総合的な探究の時間			1時間	1時間	1時間
週当たりの授業時間数(合計)			31時間	31時間	31時間

合わせた指導

基礎分野の合わせた指導とは、4つの教科を合わせて、社会的自立に必要な知識を得られる授業です。

2年生から選択する3つのコースでは、職業自立に必要な能力や態度を身に付けます。

総合的な探究の時間はチャレンジタイムと呼ばび、自分自身の興味・関心のある分野を深めていきます。

※()の数字は、全ての教科内で合わせて実施する時間

職業に関する専門教科

流通・サービスコース、食品加工・農園芸コース、福祉・介護コースの3つのコースがあります。1年生では、全てのコースを体験し、2年生からは1つのコースを選択して、それぞれの分野を深く学びながら職業自立に必要な能力や態度を身に付けます。

これから3つのコースの簡単な説明があります。

5 「流通・サービスコース」



モップでの作業



データ入力



ポリッシャー清掃

このコースでは、ビルメンテナンスや事務作業を中心に学習します。

ダスタークロスやモップやポリッシャー(床を磨く機械)などを上手に操作できるようになるために、実際の現場を想定して、本格的な実習を取り入れています。

今日の提出

今日の予定

特別支援学校

流通サービスの皆さんへ

この間は書道室を

ウルトラスパ。ピカ。ピカに

してくれてありがとう

色々な道具を使用し、書道室のワックスがけを行いました。

高校の書道の先生からこのような言葉をもらったりしています。

6 「食品加工・農園芸コース」



野菜の栽培



耕運機



パンやクッキー等の製造



このコースでは、野菜や花の栽培管理や、農機具を使って畑を整備したり、近隣の小学生にサツマイモの植え方を教えたりしています。

また、食品加工ではパンやクッキーを製造し、校内や近隣の施設で販売するという実習も行っています。

7 「福祉・介護コース」



ベッドメイキング



介助の学習



施設清掃

このコースでは、高齢者の方や目が不自由な方等にどのようなサービスが必要なのか学びます。

そして、学校にある介護用ベッドを利用して、ベッドメイキングの練習をしたり、介助の方法を学びあったり、働き始めて必要な施設清掃の技術を学びます。

8 職業体験週間

	前 期 6月	後 期 11月
1年	校内実習(5日間)	事業所での実習(5日間)
2年	事業所での実習(10日間)	事業所での実習(10日間)
3年	事業所での実習(10日間) 結合実習	結合実習 合同就職面接会など

1年生の後期から校外実習になります。2年生からは、1人または2人で一つの事業所で実習をします。3年生の前期からは結合実習(就職に繋がる実習)がはいつてきます。

9 生活自立に向けて

	宿泊を伴う学習活動	内容
1年	宿泊体験学習(1泊2日)	施設利用・企業見学 生徒間交流・その他
2年	修学旅行(3泊4日)	民泊・体験活動 企業見学・交通機関利用 (令和元年度実施内容)
3年	生活自立学習(1泊2日)	ワンルームマンションで 自炊体験

生活自立学習とは、3年生の10月頃に、ワンルームマンションを借りて、生活自立に向けて、買い物、料理、洗濯、掃除、家賃振り込み等生活に必要な活動を体験します。

10 生活自立学習



買い出し



料理



洗濯



ATMで振り込み

家庭や基礎の授業で、しっかりと準備してから実施します。

11 スチューデントメンター



3年生から2年生・1年生に、2年生から1年生に、上級生が学んだことを下級生に教える授業をスチューデントメンターと呼んでいます。この授業を通して、教えることの難しさや、学年を超えた人と人の繋がりの大切さを学んでいます。

12 技能検定に向けて



仲間とのチームワークを大切に高い能力を発揮してくれています。様子は担当ハートフルサービス

堀田さん
「株式会社日東オートサービス」の納入工となる。最初は工場内の作業、掃除、給油、給水、給水などは先輩として先輩の指導、真似も受けながら

特別支援学校で学びと能力、特性が仕事に活かされ、能力になっていきます。
日本バーンセルセンター株式会社

企業・事業所のみならず 今の生徒たちの仕事を確かめにおいでください。

兵庫県特別支援学校
喫茶サービス部門
ビルクリーニング部門
物流・品出し部門

技能検定 7/30 より各校にて開催

特別支援学校の技能検定は、生徒が身に付けた就労に関する力を公的に証明する認定資格です。企業様と連携して開発しました。

喫茶サービス部門
会場に設けた模擬喫茶店において、来店客の注文から接客までのサービス。注文をとり、ドリンクのサービス、後片付け等、衛生面と安全面への配慮、気持ちのよいおもてなしを審査します。

ビルクリーニング部門
[タスクフロー・セップ・テープ拭き]
会場に設けた模擬オフィスにおいて、清掃用具の準備、定められた手順による清掃、片付け等、安全面への配慮、必ず的かつ丁寧な清掃ができるかを審査します。

物流・品出し部門
会場に設けた模擬スーパーマーケットにおける品出しを想定し、商品の種類から陳列、顧客対応を行い、衛生面と安全面に配慮しながら、丁寧で正確な作業ができるかを審査します。

平成30年受検結果
1~10 級を認定し、兵庫県教育委員会から認定証を交付します。

生徒の実力を客観的に把握でき、適した業務の工夫が容易になります。

兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課

神戸市中央区下山手通 5-10-1 TEL 078-362-3774 FAX 078-362-4286

企業で働く 特別支援学校の卒業生たち

折口さん
GEC グループ情報子会社
日本バーンセルセンター株式会社
入社5年、各種機器、印刷物の電子化業務、データ入力業務、制作業務を担当している。

昨年度のパンフレットです。技能検定は年々企業の関心も高まっています。検定に合格すると認定証がもらえます。技能検定週間等を設定し、学校をあげて積極的に取り組んでいます。

13 交流及び共同学習（共同の学び）

社会におけるノーマライゼーションの理念を進展する礎となる学校を目指しています。ノーマライゼーションとは、「障がいのある者も障がいのない者も同じように社会の一員として社会活動に参加し、自立して生活することのできる社会を目指すという理念」です。

4つの交流及び共同学習（共同の学び）の形態

形態	内容	科目等	学年
タイプA	阪神昆陽高校の生徒と共に学ぶ。	（音楽、美術、体育、情報）	1年生
タイプB	阪神昆陽高校の授業に参加する。	（数学、英語、家庭、書道など）	2・3年生
タイプC	阪神昆陽高校の生徒が特別支援学校の授業に参加する。	（ビジネス総合）	3年生
タイプD	阪神昆陽高校の生徒と共に近隣の高等学校と交流する。	（福祉・介護コース）	3年生

障がいのあるなしにかかわらず、共に生きていく社会を目指して阪神昆陽高校と「共同の学び」を大切にしています。

14 部活動

ダンス部



陸上競技部



音楽部



バスケットボール部



空手道部



卓球部



美術部



家庭科部



パソコン部



サッカー部



バドミントン部



15 入学者選考までの流れ（予定）

	時期	内容	参加者
①	7月下旬～8月	入学相談会	本人・保護者・学校関係者
②	10月初旬	体験入学会	本人・保護者・学校関係者
③	12月	募集要項説明会	学校関係者
④	1月	出願手続き	} 詳しい日程等は募集要項説明会で説明します。
⑤	1月下旬～2月上旬	志願変更の手続き	
⑥	2月下旬	入学者選考	
⑦	2月下旬	合格者発表	

※受検希望者は、

入学相談会 及び 体験入学会 に必ず参加してください。